

ISSN 1880-8867



BULLETIN OF FACULTY OF NURSING
HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY

弘前学院大学

看護紀要

第15卷

Volume 15

2020

目 次

〈研究報告〉

成人看護学実習における学生の満足度と教員の関わりや実習目標の 理解度・到達度の関係性の検討	村 岡 祐 介 1 館 山 光 子 井 澤 美 樹 子 土 屋 陽 子
母趾喪失による立ち上がりと歩行への影響	大 谷 綾 香 11 小 野 綾
吸入処置に対する幼児の反応と、その特徴に関する観察分析 ～看護師、保護者の関わりとの関連についての検討～	齊 藤 史 恵 21 赤 石 真 利 奈 齋 藤 美 紀 子
弘前学院大学看護学部専任教員 2018年度教育研究業績	33

弘前学院大学看護紀要投稿規程

1. 投稿資格：投稿は、連名者も含めて、1) 本学の専任教員 2) 非常勤講師 3) 本学の学生（研修生・研究生を含む） 4) 紀要委員会が認めた者とする。
2. 原稿の種類：原稿は、総説・原著・研究報告・その他のいずれかであり、原稿にそのいずれかを明記する。いずれも、未発表のものに限る。
3. 倫理：人および動物が対象である研究は、大学倫理委員会の決定を遵守して、倫理的に配慮された研究でなければならない。その旨を本文中に明記する。
4. 投稿手続き：1) 投稿原稿は、審査のため3部（うち2部はコピーでもよい）を提出する。2) 受理後の最終原稿は、本文をMS-Wordあるいはテキストファイル形式で作成し、印刷媒体3部（うち2部はコピーでもよい）および電子媒体に保存したもの、あるいはE-mail^{注1)}で提出する。
5. 原稿の受付および審査：1) 投稿原稿の受付期間は前もって紀要委員会より通知する。また郵送による場合は、期限当日の消印有効とする。2) 投稿原稿の採否は紀要委員会および紀要委員会が依頼した査読者（学外を含む）による査読を経て、紀要委員会が決定する。3) 紀要委員会の審査により、原稿の修正、削除、加筆および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。4) 原稿の掲載順、印刷の様式は紀要委員会が決定する。
6. 執筆要領：原稿は、A4横書きとする。
 - 1) 論文には表紙をつけ、論文表題、英文表題（すべて大文字）、著者名（ローマ字とも）、所属機関名（英名字とも）、図、表および写真等の数、希望する原稿の種類、投稿者の連絡先（住所、電話、FAX、E-mailアドレス）を記入する。
 - 2) 論文には400字程度の和文要旨と250語以内の英文要旨を添え、日本語および英語のキーワードを4語ずつ加える。
 - 3) 外来語はカタカナで、外国人名、適当な日本語訳がない述語等は原語で書く。
 - 4) 略語は、初出時に正式用語またはスペルを記入する。
 - 5) 度量衡の単位は原則として国際単位系（SI）を使用する。
 - 6) 英文原稿および英文要旨はネイティブスピーカーの校閲を受け、その証明を添付する。
 - 7) 図、表、写真は図1、表1、写真1等の番号をつけ、本文とは別に一括し、本文の原稿の右欄外にそれぞれの挿入希望位置を指定する。なお、カラー印刷は受け付けない。
 - 8) 引用文献
 - ①引用文献は本文中に著者名、（発行年次）、を表示する。
 - ②引用文献は著者名のアルファベット順に列記して文献には片括弧つきの番号をつける。
 - (1) 雑誌掲載論文
著者名（発行年次）、論文の表題、誌名、巻（号）、最初のページー最後のページ
 - (2) 単行書
著者名（発行年次）、書名（版数）、発行地
著者名（発行年次）、論文の表題、編者名、書名（版数）、ページー数、出版社名
 - (3) 訳本
原著者名（原著の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）翻訳書の書名（版数）、出版社名、発行地
7. 著者校正は初校のみとし、校正時の加筆は認めない。2校以降は紀要委員会が行う。
8. 別刷は30部まで無料とし、30部を超える部数については自己負担とする。

注1) 投稿先のE-mailアドレス：kango-kiyou@hirogaku-u.ac.jp

編集後記

令和初めての紀要をお送りいたします。

国中、令和2年の年明けから新型コロナウイルス関連の諸々で、予定通りに行かないことが多い状況ですが、とりあえず、本学部紀要の発刊にこぎつけました。ご投稿された先生方には感謝申し上げます。

私は昨年4月に赴任して、あっという間に1年が経ったという感じですが、立場上編集委員会の委員長を引き受けた次第です。大学における教員経験年数は長いので、学会誌の編集委員長や紀要の編集委員もした経験はありましたが、赴任早々の立場での紀要の編集は初めてで、その風土というか雰囲気がわからないなかでの編集作業は全く初めてでしたのでちょっとした戸惑いもありました。

授業も学生指導等もあり学部のいろいろな役目もこなしながら、実習指導が長期にわたる状況の忙しいなかで投稿してくださった先生方には敬意を表します。また編集委員会メンバーの先生方のご協力によって、ほぼ予定通りに第15巻を発行出来ましたことについても感謝いたします。

自分も含めてですが、皆さまには今後とも研究活動を今まで以上に行っていただき、原著、研究報告問わずたくさんの原稿が集まる紀要にできたらと切に願っております。

2020年3月31日

弘前学院大学紀要委員会

委員長 土屋 陽子

弘前学院大学紀要委員会

大瀬富士子, 館山光子, 阿部智美, 田中真実, 土屋陽子

弘前学院大学 看護紀要 第15巻

2020年3月31日 印刷

2020年3月31日 発行

編集者

弘前学院大学看護学部紀要委員会

発行所

弘前学院大学看護学部

〒036-8231 弘前市稔町20-7

印刷所

やまと印刷株式会社

〒036-8061 弘前市神田4丁目4-5

BULLETIN OF FACULTY OF NURSING
HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY
Volume 15, 2020

CONTENTS

RESEARCH REPORT

*THE SATISFACTION OF STUDENTS DURING ADULT NURSING SCIENCE TRAINING AND
AFFILIATED EXAMINATION OF THE RELATION TO GOAL ACHIEVEMENT OF THE TEACHER*

*YUSUKE MURAOKA 7
MITSUKO TATEYAMA
MIKIKO IZAWA
YOKO TSUCHIYA*

THE EFFECT OF THE LOSS OF THE HALLUX ON STANDING AND WALKING

*AYAKA OTANI 11
AYA ONO*

*OBSERVATIONAL ANALYSIS OF YOUNG CHILDREN'S BEHAVIOR DURING AN
INHALATION PROCEDURE*

-THE ASSOCIATION WITH RESPONSES OF NURSES AND PARENTS-

*FUMIE SAITO 21
MARINA AKAISHI
MIKIKO SAITO*